

政策	明日につながる産業の振興	施策	商業の振興	基本事業	商店経営の充実
----	--------------	----	-------	------	---------

部名	経済部	事業開始年度	昭和54年度	区分1	継続	実施計画事業認定	非対象
課名	商工労働課	事業終了年度	-年度	区分2	単独		

事務事業の目的と成果		手段
対象	江別市内の小規模企業者（常時使用する従業員数が20人（商業又はサービス業については5人）以下の会社及び個人）	市が市内金融機関に資金を預託し、これに金融機関の資金を加えることによって、中小企業者に対する融資の原資を確保する。 資金の利用を希望する市内中小企業者は、江別商工会議所中小企業相談所に融資の申込みをする。 中小企業相談所は市内金融機関に融資を幹旋し、金融機関は審査を行って中小企業者へ融資を実行する。 市は中小企業相談所へ幹旋手数料を支払う
意図	企業倒産を防ぐ。 低利子の資金調達により、コストの削減が図られることで経営の安定が期待できる。	

事業量・コスト指標の推移							
区分		単位	21年度実績	22年度実績	23年度予算	24年度予算	目標
対象指標1	市内の事業所数（従業員20人以下）	所	2,871	2,871	2,871	2,871	
対象指標2							
活動指標1	中小企業相談所幹旋件数	件	31	32	52	52	
活動指標2	小規模企業安定資金新規融資額	千円	128,794	135,950	199,805	204,279	
成果指標1	資金利用の倒産企業件数	件	0	0	0	0	
成果指標2							
単位コスト指標							
事業費計（A）		千円	495,261	295,008	275,208	246,587	0
正職員人件費（B）		千円	2,489	2,418	2,444	2,428	0
総事業費（A）+（B）		千円	497,750	297,426	277,652	249,015	0

事業単独評価、施策内での相対評価、財政状況に基づく改革案（2月時点）
 市内金融機関に預託する資金の配分方法の見直しを検討する。
 平成24年度新規融資分の予算は前年同額で計上し、市内事業者の利便性維持を図っている。

24年度への業務改善方向性

維持	見直し	新規	休廃止	その他
----	-----	----	-----	-----

- 維持：現状の目的や方法に変更がなぐ24年度実施する事業
- 見直し：現状の方法や事業量を見直し、成果指標の向上やコスト改善をおこなう事業
- 休廃止：22年度もしくは23年度に「休止」、「廃止」、「終了」する事業
- 新規：24年度より新たに新規事業として実施する事業

		改革方向性（コスト）		
		減少	維持	増加
改革方向性（成果）	向上			
	維持			
	放低置下			